

マンガの内容によるアクセス支援のための  
オントロジーを基礎とするマンガ排列の作成手法  
A Graphical Layout Method to Support Accessing Manga  
by Content Using a Manga Ontology

学籍番号：201321626

氏名：岩間 勇介

Yusuke IWAMA

近年、ネットワークの発展によってデジタル環境でマンガが扱われる機会が増大した。それに伴いデジタル環境においてマンガを探索する事が日常的に行われるようになった。ユーザは膨大な数のマンガ作品から自身の興味や要求に適合するものを探し出すためにマンガの内容を利用したアクセスを行う。その際、マンガの内容に関する情報としてマンガ間の関連を手がかりにする。しかし、オンライン書店などの検索結果は個別の書籍に関する情報のリストとして提示される事が多い。そのため、マンガ同士の関連を目に見える形で提示する事で、アクセスのさらなる効率化が期待される。そこで Linked Open Data を利用しマンガ同士を関連付けて並べて排列として提示する手法を提案する。この手法では、マンガの検索結果だけでなく関連するマンガも明示的に提示することでより効率的な探索を行える。

我々はマンガの内容を利用したアクセスのためのメタデータに関する研究を行ってきた。本研究では、オントロジーを利用して探索結果を排列として提示するシステムの構築を行った。マンガを排列として提示するためには並べる対象となる作品単位のマンガ、並べるマンガを絞り込むための情報が必要となる。その情報資源としてマンガに関する概念や語彙を体系化したマンガのためのオントロジーを利用した。このマンガオントロジーに記述されている作品単位のマンガ情報やマンガに関する概念構造は Wikipedia のマンガに関する情報を参考にしており、マンガ排列の作成に適している。そこでオントロジーを Linked Open Data として利用する事で内容に則したマンガ排列を提示するシステムであるマンガビューワーの開発を進めた。マンガビューワーの開発により、主題の概念構造を利用した階層的表示、また排列されたマンガに関連する情報のクラスに応じて検索結果の表示形式を切り替えることによりマンガの内容に則した視覚的な絞り込みを実現した。現在マンガビューワーで排列できるマンガの数は 2341 作品、絞り込みに利用できる情報は 74 種類である。今後の課題として、オントロジーを拡充して排列できるマンガを増やし、現在 2 種類しか無いマンガ排列の表示形式を新たに実装する事などが求められる。

研究指導教員：杉本 重雄

副研究指導教員：永森 光晴